

# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市狐島4 2 8 8 番地 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：小川秋實 副会長：唐澤敏治 幹事：小向誠一



2014-2015 国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

Light up Rotary

2014-2015 RI会長  
 ゲイリー・C.K.ホアン  
 台湾台北



第1289回 例会 平成26年11月11日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 奉仕の理想 馬場秀則ソングリーダー



■ 会長談話 小川秋實会長



ロータリークラブとライオンズクラブとの違いについてです。両クラブとも政治・宗教に関わらない社会奉仕団体で、組織・規模や奉仕活動の内容は大差ありません。違うのは、創設の経緯と理念・モットーです。

1900年代、アメリカのシカゴは殺伐とした社会でした。そのなかに、実業家が共に昼食をとりながら情報を交換し、互いに利益を図ろうというサークルが多数ありました。その一つとして、弁護士ポール・ハリスが 異業種の実業家が「親睦」を図るサークルを提唱し、1905年ロータリークラブが発足しました。数年後、親睦だけでなく奉仕活動もしようということで、1907年には、シカゴ市内に公衆トイレを設置しました。

それから10年ほど後に、保険会社を経営していたメルビン・ジョーンズは、所属していたサークルを「成功した実業家が地域社会の向上に尽くす組織にしよう」ということで1917年シカゴにライオンズクラブを創設しました。この時、すでにロータリークラブは存在していましたが、ライオンズクラブ創設の記録にはロータリークラブのことは全く触れられていません。

「ライオンズ」の名称は、ライオンが勇気、強い力、活動力と誠実というすぐれた資質を持つことから選ばれました。その後、「Liberty Intelligence Our Nation's Safety (自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)」という言葉の頭文字にもなるので、これが「ライオンズ」の新しい解釈になりました。ライオンズクラブの奉仕活動で特筆されることは、ヘレン・ケラーの呼びかけに応じた「視覚障害を減らすための活動」です。視覚障害者が持つ「白い杖」はライオンズクラブ会員の発明です。アイバンク基金の創設など、身体的に障害を負った人を支援する活動に力を入れてきています。

ライオンズのモットーは「we serve」(われわれは奉仕する)です。これに対し、ロータリーは「I serve」(私は奉仕する)だという意見がありました。しかし、「I serve」という言葉は、ロータリーの公式文献(ロータリー章典、手続要覧など)にはどこにも載っていません。かつて日本のロータリアンが、ロータリーは「I serve」、すなわち、個人奉仕だと主張したことがありましたが、ロータリーは災害への支援、ポリオプラスなど、団体としての奉仕活動(we serve)もやっています。ロータリーは「I serve」だというのは誤りです。

ロータリアンから見ると、ライオンズは、外でのボランティアが多く、広報活動が上手という印象があります。例会は月2回夜間、奉仕後や懇親会の中締めで「ライオンズ・ロア」の儀式を行うなど、例会のやり方が少し違います。しかし、社会奉仕団体としては、大きな違いがないように思います。

インターネットに、「道路にゴミが落ちていた場合、ロータリーは、どうすればゴミを捨てなくなるかを考える集団、ライオンズは、ゴミ箱を寄贈する集団」という比喻が載っていました。私は、両者にこのような違いがあるとは思えません。

## ■ ニコニコボックス

◆小川秋實

伊那西高校創立30周年記念式典が盛大に行われ、当クラブを代表して参加してきました。今月はロータリー財団月間です。今日はクラブフォーラムで財団の話をしていただきます。心苦しいですが寄付のお願いです。

◆田中洋

◆矢野昌史

8日に伊那西高校創立30周年式典に出席しました。来賓約120名、生徒500名、職員とで広い講堂がいっぱいでした。盛大に行われました。

◆井上修

年末で暫く欠席が続きます。すみません。

◆伊藤幸明

先週の金曜日におのぼり接待を受けてきました。参加者は金融機関代理店社長だけ、県下では昭和商事、長野信金と私の三人、やはり日本一の会社は違います。講師は厚生労働事務次官を経て京都大学IPS細胞研究所顧問でした。

(発表 伊藤幸明委員長)

## ■ 幹事報告

小向誠一幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



## ■ 委員会報告

・11月8日(土) 伊那西高等学校創立30周年記念式典の報告 矢野昌史青少年奉仕委員長



今年、開校30周年の節目を迎えた伊那西高等学校では災害に遭われた東北へ研修に行かれました。式典において、出野校長先生は「東北の皆さんの姿を刻みながら歩んで行きたい」と述べられました。また生徒会長の林瑠衣さんは「私たちが生活している毎日は、決して当たり前ではないことに改めて気付かされた。」と話しました。さらに記念公演では、詩人の谷川俊太郎さんとピアノ演奏家である谷川賢作さんの二人の詩の朗読コンサートがありました。そして18時からは伊那セミナーハウスで祝賀会も開かれました。小川会長、下井会員と矢野の3名で出席致しました。

・12/23(火・祝) 年末家族会の案内 大谷智鶴親睦活動・家族委員長



12月23日に年末家族会が開催されます。今年度のアトラクションにはごんべいワールドの「風船のおじさん」をお願いしましたのでご家族・子供さん方の大勢のご参加をお待ちしています。

## ■ 出席報告

会員数33名 出席免除会員8名 長欠会員2名 本日出席者18名 事前メイク3名  
出席率75.00% 前回出席率 修正なし (発表 井上修委員)

## ■ クラブフォーラム

### 「ロータリー財団」 田中洋ロータリー財団担当会員



11月は「ロータリー財団月間」です  
現在、ロータリー財団には、

- ①ポリオ・プラス
  - ②地区補助金
  - ③グローバル補助金
  - ④ロータリー平和センター
- の4つのプログラムがあります。

2014-15年度ロータリー財団には、5つの目標があります。

- (1) ポリオを撲滅する（2018年までの）。今こそ目標を達成しよう。  
2018年までに55億ドルが必要ですが、まだ約6億ドルの財源が不足しています。そこで、各クラブ\$1,500、2013-14年度からポリオ撲滅まで毎年地区DDFの20%の寄付を依頼されています。
- (2) 継続的な寄付を通じて、ロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援する。  
年次プログラム基金寄付（Every Rotarian Every Year）の日本の目標は、1人当たり\$150です。年次寄付ゼロクラブの解消、当地区内にはありません。ロータリーカード（特に法人用クレジットカード）の普及をお願いします。
- (3) 持続可能な教育的・人道的プロジェクトに参加することで、新しい補助金プログラムの展開を確かなものとする。  
地区補助金、グローバル補助金で新しい奉仕活動を創生し、更にクラブを活性化し楽しみましょう。
- (4) ロータリー平和センター・プログラムの推進と広報を通じて、世界理解、親善、平和を育む。  
この基金の目標金額は、2015年6月30日までに1億2,500万ドルです。これにより毎年最高100名の平和フェローの費用を賄うことができます。  
今後、このプログラムへの寄付もお願い致します。

R財団の今年度の事業日程は下記の通りです。

- |          |   |
|----------|---|
| 26年12月7日 | 地区補助金管理セミナー（出席義務者：会長エレクト、次期幹事、次期財団委員長など。事務局の出席も可） |
| 26年1月～3月 | 次年度地区補助金申請受付                                      |
| 27年4月5日  | 地区研修・協議会にて次年度R財団委員長にレクチャー。                        |
| 27年4月25日 | 次年度地区補助金対象クラブ選考会。                                 |

## ■ 点 鐘

13:30

### 次回例会

11月18日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店  
クラブフォーラム(会員増強)